

中学地理プリント（過去問類似）

九州地方

名前

得点

/10

問1 鹿児島県に広く分布する「シラス台地」の土壌の性質として、現地の農業に最も大きな影響を与えている特徴はどれですか。

(2024年 山形公立入試 類似)

- 非常に水はけが良く、地表に水が溜まりにくい
- 川が運んだ土砂でできており、水を通しにくい
- 粘土質で栄養分が豊富であり、稲作に非常に適している
- サンゴ礁が隆起してできたため、アルカリ性が非常に強い

問2 宮崎平野できゅうりなどの栽培に用いられる、ビニールハウスなどの施設を利用して作物の成長を早め、通常の出荷時期よりも前倒して出荷する栽培方法を何とといいますか。

(2023年 福島県公立入試 類似)

- 促成栽培
- 抑制栽培
- 近郊農業
- 二毛作

問3 九州地方南部の鹿児島県から宮崎県にかけて広がる、過去の巨大な火山活動による噴出物が厚く積み重なって形成された広大な台地を何と呼びますか。

(2019年 三重公立入試 類似)

- シラス台地
- カルデラ
- 甲府盆地
- 筑紫平野

問4 福岡県と佐賀県にまたがる筑紫平野では、かつて農業用水の確保や排水を目的として、網の目のように巡らされた人工の水路が活用されていました。この水路の名称として正しいものを選びなさい。

(2022年 宮城県公立入試 類似)

- クリーク
- カルデラ
- 輪中
- 扇状地

問5 九州地方南部の鹿児島県の大隅半島や薩摩半島、宮崎県の一部にかけて、火山の噴出物である火山灰などが厚く降り積もって形成された広大な台地を何と呼びますか。

(2017年 大分県公立入試 類似)

- シラス台地
- カルスト台地
- 扇状地
- 干拓地

問6 沖縄県が国際的な航空貨物輸送の拠点（ハブ）としての役割を担っている理由について述べた説明として、最も適切なものを次の中から選びなさい。

(2024年 栃木公立入試 類似)

- 日本国内の消費地が近いと、国内向けの新鮮な農水産物を迅速に輸送するのに適しているから
- 東アジアの主要都市から約4時間以内の距離にあるという、地理的な中心性に優れているから
- 空港周辺に大規模な自動車工場が集積しており、部品の輸出を効率的に行う必要があるから
- 冬でも温暖な気候を利用して、海外から輸入した熱帯果実を一時的に保管するのに適しているから

問7 鹿児島県では農業産出額が全国トップクラスであるとともに、製造品出荷額の第1位を「食料品」が占めています。このように、鹿児島県の工業において食料品工業の割合が高い理由として最も適切な説明はどれですか。

(2016年 山形県公立入試 類似)

- 県内で盛んな畜産業や畑作によって生産された農畜産物を原料とし、それらを加工して付加価値を高める産業が発達しているため。
- 広大な平野を利用した稲作が中心であり、余った米を酒類や菓子類に加工して大都市圏へ大量に輸送する体制が整っているため。
- 高速道路沿いに半導体工場などの先端技術産業が集積したことで、そこで働く労働者向けの冷凍食品製造が急増したため。
- 大規模な港湾施設を活かして海外から安価な穀物を輸入し、臨海部のコンビナートで加工してから全国に配分しているため。

問8 日本の諸地域の統計において、人口は約137万人（2016年時点）で、海岸線の延長が4000kmを超えるという際立った特徴を持つ長崎県について、海岸線がこれほどまでに長くなっている地理的な理由として最も適切なものはどれですか。

(2020年 埼玉県公立入試 類似)

- 対馬や五島列島など数多くの島々を抱え、入り江の入り組んだ複雑な海岸線を持つため
- 大規模な干拓事業が繰り返された結果、人工的な海岸線が大幅に増設されたため
- 九州地方で最大の面積を持ち、東側と西側の両方が外海に広く面しているため
- 火山活動による溶岩の流出によって、平坦で直線的な海岸線が延々と形成されたため

問9 長崎県は複雑な海岸線を持つことから、入り江などを網で仕切って魚を育てる「海面養殖」が盛んです。2008年から2013年にかけて、長崎県ではぶり、まぐろ、ふぐなどの様々な魚が育てられていますが、これらと並んで生産額の多くを占めている代表的な魚種を選択肢から選んでください。

(2017年 京都公立入試 類似)

- まだい
- ほたてがい
- さけ
- かつお

問10 1970年代の大分県において、県内での雇用を増加させ、大都市圏への人口流出を抑える要因となった政府による都市開発の指定制度を何とといいますか。

(2020年 大分県公立入試 類似)

- 新産業都市
- 学術研究都市
- 高度経済成長拠点
- 情報公開特区

答え合わせ・解説

問1	答え 1 非常に水はけが良く、地表に水が溜まりにくい	シラス台地は過去の火山活動による火砕流などの噴出物が積み重なって形成されました。この土壌は粒子が粗く「水を通しやすい（水はけが良い）」という特性を持っています。そのため、常に水を張る必要がある水田稲作には向かず、古くからサツマイモや茶などの畑作、そして畜産を中心とした農業が発展してきました。
問2	答え 1 促成栽培	冬でも暖かい九州地方の気候を活かし、ビニールハウスできゅうりやピーマンなどを育てる方法を促成栽培と呼びます。他の産地の出荷が少ない冬から春にかけて市場に供給することで、農産物を高い価格で販売できるという利点があります。これに対し、高冷地などで収穫時期を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれます。
問3	答え 1 シラス台地	九州地方南部には、過去の火山活動に由来する火砕流堆積物が広範囲に分布しています。この白っぽい砂状の土壌からなる台地は、水はけが非常に良く水持ちが悪いため、かつては稲作に不向きな土地とされてきました。そのため、現在でもサツマイモや茶などの畑作、あるいは大規模な畜産が盛んな地域となっています。
問4	答え 1 クリーク	筑紫平野は標高が低く、干拓によって土地を広げてきた歴史があるため、水の管理が極めて重要でした。そのため「クリーク」と呼ばれる水路を張り巡らせることで、稲作に必要な水の貯蔵や、大雨の際の排水を行ってきました。現在は土地改良事業により整理が進んでいます。
問5	答え 1 シラス台地	九州地方南部は過去の巨大な火山活動の影響を強く受けており、噴出した火山灰や軽石などが広範囲にわたって堆積しました。このようにして形成された地形はシラス台地と呼ばれ、この地域特有の景観や農業のあり方を規定する大きな要因となっています。
問6	答え 2 東アジアの主要都市から約4時間以内の距離にあるという、地理的な中心性に優れているから	沖縄県は、東京、ソウル、上海、台北、香港、マニラといった東アジアを代表する主要都市から、概ね4時間以内で到達できる範囲内に位置しています。この地理的メリットは、貨物機が各地を往復して荷物を集約・再配分する航空貨物輸送の効率を最大化させるため、国際的な物流拠点として選ばれる最大の要因となっています。
問7	答え 1 県内で盛んな畜産業や畑作によって生産された農畜産物を原料とし、それら加工して付加価値を高める産業が発達しているため。	鹿児島県は、シラス台地の特性を活かした肉用牛、豚、鶏などの畜産業が日本屈指の規模を誇ります。これらの地元の農産物を原料として、精肉加工や缶詰、焼酎、菓子などの「食料品」へと加工する工業が地域に根付いているため、農業と工業が密接に関係しながら産業構造を形作っています。
問8	答え 1 対馬や五島列島など数多くの島々を抱え、入り江の入り組んだ複雑な海岸線を持つため	長崎県は離島の数が日本一多く、県全体の面積は全国で37位程度と決して大きくありませんが、五島列島、対馬、壱岐などの島嶼部や、リアス海岸をはじめとする複雑な地形を含んでいるため、海岸線の総延長は北海道に次ぐ全国2位となっています。統計資料において、面積が同程度の他県に比べて海岸線が圧倒的に長い数値を示している場合は、この地理的特色を判断材料とします。
問9	答え 1 まだい	長崎県は、リアス海岸などの入り組んだ地形や多くの島々という地理的条件を活かし、海面養殖が非常に盛んな地域です。特に「まだい」の養殖生産量は全国でもトップクラスであり、ぶり、まぐろ、ふぐ（トラフグ）といった市場価値の高い高級魚を組み合わせることで、高い生産額を維持しています。
問10	答え 1 新産業都市	政府は地方への工業分散を図り、過密・過疎問題を解決するために「新産業都市建設促進法」を制定しました。大分県（大分地区）はこの「新産業都市」の指定を受けたことで工業化が進み、県内での雇用機会が創出されました。この結果、高度経済成長の終わりとともに大都市への人口流出が減少し、地方における人口還流が促進されました。